

第 82 回国民スポーツ大会・  
第 27 回全国障害者スポーツ大会  
長野県準備委員会

第 1 回全国障害者スポーツ大会  
専門委員会



長野県 PR キャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

令和 7 年 7 月 9 日（水）

13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

長野県障がい者福祉センター（サンアップル）ホール

## 目次

委員名簿	P1
<b>説明・報告事項</b>	P3
説明・報告事項1 全国障害者スポーツ大会の概要	P5
説明・報告事項2 これまでの準備経過	P10
説明・報告事項3 全国障害者スポーツ大会の会期について	P18
説明・報告事項4 全国障害者スポーツ大会専門委員会今後の審議予定事項	P19
説明・報告事項5 競技役員等養成事業補助金交付要綱及び交付実施要領の改正について	P20
説明・報告事項6 競技名称の変更について	P21
<b>審議事項</b>	P23
審議事項1 会場地バリアフリー調査について	P25
審議事項2 選手団サポートボランティアの養成について	P39
審議事項3 競技用具整備要項について	P41
審議事項4 オープン競技について	P42

## 全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員

(委員は順不同、敬称略)

	職名	区分	氏名	所属・役職等
1	委員長	障がい者スポーツ団体	奥原 明男	(公財) 長野県障がい者スポーツ協会 理事長
2	副委員長	障がい者福祉団体	吾妻 博夫	(社福) 長野県身体障害者福祉協会 副理事長
3	委員	障がい者スポーツ団体	太田 澄人	長野県障がい者福祉センター スポーツ課長
4	〃	障がい者スポーツ団体	宮澤 徹	長野県障がい者スポーツ指導者協議会 会長
5	〃	福祉関係団体	深沢 幸栄	(社福) 長野県社会福祉協議会 事務局長
6	〃	県スポーツ協会	堀内 光晴	(公財) 長野県スポーツ協会 事務局長
7	〃	障がい者福祉団体	関 悠人	(社福) 長野県聴覚障害者協会 スポーツ委員長
8	〃	障がい者福祉団体	小山 治秀	(社福) 長野県視覚障害者福祉協会 事務局長
9	〃	障がい者福祉団体	中村 彰	長野県手をつなぐ育成会 会長
10	〃	障がい者福祉団体	飯島富士雄	(特非) 長野県精神保健福祉会連合会 理事長
11	〃	学校教育団体	中島 勇吾	長野県特別支援学校校長会 障がい者スポーツ担当
12	〃	競技運営主管団体	内山 良一	(一財) 長野陸上競技協会 理事 (全障スポ担当)
13	〃	競技運営主管団体	湯原 憲造	(一社) 長野県水泳連盟 常務理事・競技専門委員長
14	〃	競技運営主管団体	轟 良尚	長野県アーチェリー協会
15	〃	競技運営主管団体	望月 敏成	長野県卓球連盟 常任理事・障がい者委員会委員長
16	〃	競技運営主管団体	酒井 雅木	長野県障害者フライングディスク協会 副会長兼事務局長
17	〃	競技運営主管団体	両角 英樹	長野県ボウリング連盟 理事長
18	〃	競技運営主管団体	山田 智子	長野県ボッチャ協会 副会長
19	〃	競技運営主管団体	久保 聡史	(一社) 長野県バスケットボール協会 理事
20	〃	競技運営主管団体	寺本 俊也	長野県ソフトボール協会 国スポプロジェクト委員
21	〃	競技運営主管団体	吉川 豊	(一財) 長野県バレーボール協会 理事
22	〃	競技運営主管団体	篠原 裕一	(一社) 長野県サッカー協会 常務理事
23	〃	県	藤木 秀明	長野県健康福祉部障がい者支援課 課長
24	〃	県	井澤 克行	長野県観光スポーツ部スポーツ振興課 課長
25	〃	県	神津 公洋	長野県教育委員会特別支援教育課 課長

計25名



# 説明・ 報告事項



**JAPAN  
GAMES**





## 全国障害者スポーツ大会の概要

### 1 大会の名称

# 第27回全国障害者スポーツ大会

### 2 大会の愛称

# 信州やまなみ全障スポ

(趣旨)

日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へとつながる大会を目指します。

### 3 スローガン（第82回国民スポーツ大会と共通）

# 行こう。それぞれの頂へ。

(趣旨)

頂点を目指すことだけが大会の目的ではなく、それぞれにそれぞれが思うゴールがあります。選手をはじめ、ボランティアとして大会を支える人、観戦する人など、大会に関わるすべての人が、自分の思い描く頂（いただき）を目指す大会にしたいという意味が込められています。

### 4 マスコットキャラクター「アルクマ」



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

### 5 主催者

公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省  
長野県、開催市町村及び関係団体

## 6 目的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

## 7 大会開催の基本方針

- (1) 大会は、毎年1回開催し、各都道府県の持ち回りとする。
- (2) 大会は、毎年実施される国民スポーツ大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において**3日間**で開催する。
- (3) 大会会期は、国民スポーツ大会本大会の開催決定にあわせて、**開催3年前までに**開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (4) 競技別会期は、**開催2年前の年度末までに**開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (5) 大会における競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及びJPSA登録競技団体等が主管する。
- (6) 大会における競技施設は、原則として、国民スポーツ大会本大会の会場を使用する。

## 8 実施競技

実施競技は、「全国障害者スポーツ大会競技規則」（以下「競技規則」という。）に定められた個人競技及び団体競技都市、団体競技は都道府県・指定都市対抗とする。

なお、競技規則に定められていない競技・種目であっても、広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについては、あらかじめ主催者間で協議のうえ「オープン競技」として実施することができる。

※ 上記6～8については、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱より抜粋

## 9 正式競技と競技会場

	競技名	障害区分	会場地	会場	
個人競技	陸上	身・知	松本市	松本平広域公園陸上競技場	
	水泳	身・知	長野市	アクアウイング (長野運動公園総合運動場総合市民プール)	
	アーチェリー	身	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場	
	卓球 (STT 含む)	身・知・精	岡谷市	スワンドーム (岡谷市民総合体育館)	
	フライングディスク	身・知	茅野市	茅野市運動公園陸上競技場	
	ボウリング	知	長野市	ヤングファラオ	
	ボッチャ	身	千曲市	ことぶきアリーナ千曲 (更埴体育館)	
団体競技	バスケットボール	知	長野市	長野運動公園総合運動場総合体育館 ホワイトリング (真島総合スポーツアリーナ)	
	車いすバスケットボール	身		南長野運動公園総合運動場体育館 のいずれか	
	ソフトボール	知	伊那市	伊那ニッパツスタジアム (伊那スタジアム) 伊那ニッパツ野球場 (伊那市営野球場) 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 のいずれか	
	ブラインドベースボール (グラントソフトボール)	身			
	フットソフトボール	知			
	バレーボール		身	安曇野市	ANCアリーナ (安曇野市総合体育館)
			知	松本市	エア・ウォーターアリーナ松本 (松本市総合体育館)
			精	大町市	大町市運動公園総合体育館
サッカー	知	松本市	サンプロアルウィン (長野県松本平広域公園総合球技場) 長野県松本平広域公園芝生グラウンド 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場 のいずれか		

身：身体障がい 知：知的障がい 精：精神障がい

※サッカー、ソフトボール、ブラインドベースボール (グラントソフトボール) 及びフットソフトボールの競技会場については令和7年8月開催の総務企画専門委員会にて決定予定。

※以降、本資料内において会場名の ( ) 内の表記については省略する。

10 SAGA2024 全障スポ大会における参加選手数

	競技名	障害区分	総参加選手数	長野県選手団参加選手数
個人競技	陸上	身・知	935 人	14 人
	水泳	身・知	301 人	4 人
	アーチェリー	身	55 人	1 人
	卓球 (STT 含む)	身・知・精	420 人	7 人
	フライングディスク	身・知	376 人	6 人
	ボウリング	知	168 人	3 人
	ボッチャ	身	120 人	2 人
団体競技	バスケットボール	知	男子 7 チーム 78 人 女子 7 チーム 65 人	
	車いすバスケットボール	身	7 チーム 71 人	
	ソフトボール	知	7 チーム 104 人	
	ブラインドバースポール (グラントソフトボール)	身	7 チーム 100 人	
	フットソフトボール	知	7 チーム 98 人	
	バレーボール	身	男子 7 チーム 73 人 女子 7 チーム 70 人	
		知	男子 7 チーム 80 人 女子 7 チーム 68 人	女子 1 チーム 9 人
		精	7 チーム 82 人	
サッカー	知	7 チーム 111 人		
合計			3,375 人	46 人

11 過去 5 大会のオープン競技

年度	大会	実施競技
R6	佐賀	ウォーキングフットボール、スポーツウエルネス吹矢、 ソーシャルフットボール、卓球バレー、電動車椅子サッカー パラサーフィン、ふうせんバレーボール、ブラインドテニス、
R5	鹿児島	スポーツウエルネス吹矢、電動車椅子サッカー ふうせんバレーボール、
R4	栃木	車椅子ダンス、スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー
R1	茨城 (中止)	グラウンドゴルフ、車椅子ダンス、スポーツウエルネス吹矢 卓球バレー、ハンドアーチェリー、ブラインドテニス
H30	福井	車いすテニス、ゲートボール、卓球バレー

## 12 競技運営主管団体

	競技名	主管団体
個人競技	陸上競技	(一財) 長野陸上競技協会
	水泳	(一社) 長野県水泳連盟
	アーチェリー	長野県アーチェリー協会
	卓球・STT	長野県卓球連盟
	フライングディスク	長野県障害者フライングディスク協会
	ボウリング	長野県ボウリング連盟
	ボッチャ	長野県ボッチャ協会
団体競技	バスケットボール	(一社) 長野県バスケットボール協会
	車いすバスケットボール	
	ソフトボール	長野県ソフトボール協会
	ブラインドベースボール (グラウンドソフトボール)	
	フットソフトボール	
	バレーボール	(一財) 長野県バレーボール協会
	サッカー	(一社) 長野県サッカー協会

第 27 回全国障害者スポーツ大会 準備経過

年	会議名	決定事項
平成 29 年	■ 第 1 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催基本方針</li> <li>・ 競技会場地市町村選定基本方針</li> <li>・ 総合開・閉会式会場選定基本方針</li> <li>・ 競技役員等編成基本方針</li> <li>・ 競技役員等養成基本方針策定</li> </ul>
平成 30 年	■ 第 1 回競技運営専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全障スポ競技運営等について</li> <li>・ 競技役員等養成について</li> </ul>
令和 2 年	■ 第 4 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報基本方針</li> <li>・ 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針</li> </ul>
令和 4 年	■ 第 7 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民運動基本方針</li> </ul>
令和 5 年	■ 第 9 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊基本方針</li> <li>・ 医事・衛生基本方針</li> <li>・ 輸送・交通基本方針</li> <li>・ 式典基本方針</li> </ul>
	■ 第 6 回競技運営専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審判員養成計画</li> </ul>
令和 6 年	■ 第 11 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープン競技実施基本方針</li> </ul>
令和 7 年	■ 第 9 回広報・県民運動専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報支援ボランティア養成について</li> </ul>
	■ 第 13 回常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警備・消防防災基本方針</li> </ul>

※常任・専門委員会での全障スポ大会に関連する決定事項を記載しています。

## 第27回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針

第27回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の開催に当たり、県及び会場地市町村は、次の方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

### 1 県が担当する業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な総合調整、連絡及び助言を担当し、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備及び運営に関する業務を担当し、経費を負担する。
- (3) 競技会に関する計画の策定並びに競技会実施本部の準備及び運営に関する業務を担当し、経費を負担する。

### 2 会場地市町村が担当する業務と負担する経費

競技会場地の市町村として、県が行う競技会実施本部の準備及び運営への協力に関する業務を担当し、経費を負担する。

### 3 業務分担・経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担、経費負担の細目については、別に定める。

## 第 27 回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目

「第 27 回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」に基づき、業務分担・経費負担の細目を次のとおり定める。

- 1 県及び会場地市町村の業務分担の細目は、別表 1 のとおりとする。
- 2 県及び会場地市町村の経費負担の細目は、別表 2 のとおりとする。
- 3 この細目に定めのない事項で必要なものについては、県と会場地市町村が協議の上、決定する。

## 県と会場地市町村の業務分担細目

項目	主な業務内容	県	市町村
総務企画	開催準備計画の策定	○	
	大会実施本部の設置・運営（係員の編成・養成含む。）	○	
	競技会実施本部の設置・運営（係員の編成・養成含む。）	○	協力
	大会実施本部員等の必携の作成	○	
	競技会実施本部員等の必携の作成	○	協力
	競技役員、実施本部員、ボランティア等の服飾の整備	○	
お成り関係	行幸啓本部の設置・運営、行幸啓計画・警備計画の策定	○	協力
	御泊所、御休憩所、御座席等の整備	○	協力
歓迎案内関係	ふれあい広場の設置（開閉会式場・競技会場）	○	
	ふれあい広場の運営（開閉会式場）	○	
	ふれあい広場の運営（競技会場）	○	協力
	会場地市町村独自のおもてなし		任意
	案内・物品貸与・湯茶接待の各種サービス施設の設置	○	協力
	案内・物品貸与・湯茶接待の各種サービス施設の運営・管理	○	協力
ボランティア	各種ボランティアの募集・養成・登録	○	協力
	競技会場におけるボランティアの配置	○	
	競技会場におけるボランティアへの指示や調整	○	協力
広報	ポスター、情報誌等の作成・配布	○	協力
	各種広報媒体・行事等における大会PR	○	○
県民運動	県民運動の普及啓発・推進	○	
	市町村における県民運動の推進		○
競技	競技実施要項の策定	○	
	競技別実施要項の策定	○	
	競技別プログラムの作成	○	協力
	競技会の運営（開会式・表彰式・競技記録の報告を含む。）	○	協力
	競技用具の整備	○	協力
	競技役員等の養成及び編成	○	
施設	競技会場の仮設施設の整備、会場設営	○	協力
	市町村所有競技会場の整備		○
	競技会場の管理・美化	○	協力
輸送・交通	輸送交通要項、輸送計画	○	協力
	輸送の実施、駐車場の確保	○	協力
	駐車場の管理・運営、交通整理の実施	○	協力
宿泊・弁当	宿泊計画の作成及び配宿の実施、弁当の調達・斡旋	○	
	弁当引換所の運営・管理	○	協力
警備・消防	消防・警備要項、消防・警備計画の策定	○	協力
	消防・警備の実施	○	協力
医事衛生	医療救護要項の策定、救護所等の設置	○	協力
	救護所等の運営・管理	○	協力

## 県と会場地市町村の経費負担細目

項目	経費項目	負担区分		備考
		県	市町村	
総務企画	招待状の発送	○		
	IDカードの発送	○		
	大会従事者の保険	○		
	実施本部員、ボランティア、大会関係者等の服飾	○		
	式典の企画・運営、会場施設整備	○		
開・閉会式	式典の企画・運営、会場施設整備	○		
お成り関係	お成り	○		
歓迎案内関係	ふれあい広場の設置	○		
	総合案内所の設置（看板・ブース等）	○		
ボランティア	ボランティアの募集・養成（パンフレット作成・研修等）	○		市町村が独自に行う場合は市町村負担
	ボランティアの保険・弁当	○		
広報	印刷物・広報物品等の作成	○		市町村独自作成分は市町村負担
	広報イベントの開催	○		市町村独自実施分は市町村負担
競技	競技会実施本部員の旅費	○	○	先催県視察等
	競技会実施本部員の時間外勤務手当	○	○	
	競技会実施本部員業務必携の作成・印刷	○	○	
	実施本部の備品（会場実施設計記載の備品）	○		コピー機、通信機器
	実施本部の備品（会場実施設計に記載のない備品）、消耗品	○		
	競技運営（競技運営主管団体への委託）	○		
	競技役員等の養成	○		
	競技用具の整備	○		
	表彰物品（大会メダル等）	○		
	プログラムの印刷	○		市町村独自作成分は市町村負担
	開始式出演団体の旅費等（市町村が出演依頼する場合）		○	
施設	会場使用料	○		
	トイレ・スロープ等の仮設物の設置	○		市町村の判断により常設設備又は市町村独自の仮設物（装飾等）の整備を行う場合は市町村負担
	音響設備・通信機器等の配備	○		
	会場装飾、看板、サイン表示等	○		
宿泊・輸送	選手団等の配宿、計画バス等の運行	○		
医事衛生	医療救護所の設置、医薬品等の配備	○		

## 第27回全国障害者スポーツ大会 審判員養成計画

### 1 趣旨

第27回全国障害者スポーツ大会の円滑な競技運営と、障がい者スポーツの普及・振興を図るため、競技運営主管団体等の協力を得て、審判員（要資格運営員を含む）を養成する。

### 2 基本的事項

下記に基づいて第27回全国障害者スポーツ大会の審判員養成計画を作成する。

- (1) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (2) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (3) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (4) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画

### 3 審判員及び養成協力団体（競技運営主管団体）

	A 必要となる 競技役員数  (注1)	B 必要となる 審判員数  (注2)	C 国スポにお ける審判員 確保数 (県内)	D 過不足数 (B-C)	競技運営主管団体
陸上競技	370	95	423	-328	一般財団法人長野陸上競技協会
水泳	130	40	202	-162	一般財団法人長野県水泳連盟
アーチェリー	40	10	20	-10	長野県アーチェリー協会
卓球	120	30	52	-22	長野県卓球連盟
サウンドテーブルテニス	30	20	0	20	
フライングディスク	120	80	0	80	長野県障害者フライングディスク協会
ボウリング	40	10	30	-20	長野県ボウリング連盟
ポッチャ	60	50	0	50	長野県ポッチャ協会
バスケットボール	70	20	42	-22	一般社団法人長野県バスケットボール協会
車椅子バスケットボール	60	20	0	20	
ソフトボール	70	20	154	-134	長野県ソフトボール協会
グラウンドソフトボール	70	40	0	40	
フットソフトボール	80	25	0	25	
バレーボール	120	30	229	-199	一般財団法人長野県バレーボール協会
サッカー	90	25	30	-5	一般社団法人長野県サッカー協会
合計	1,470	515	1,182		

(注1) 先催県の審判員養成計画等より算出。

(注2) 全国障害者スポーツ大会特有競技については、先催県の審判員養成計画等により算出し、それ以外の競技については、競技役員数の概ね1/4を想定。

#### 4 審判員養成年次計画

		令和5年度 5年前	令和6年度 4年前	令和7年度 3年前	令和8年度 2年前	令和9年度 1年前	令和10年度 開催年	
<b>全国障害者スポーツ大会 独自競技</b> サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボッチャ、車椅子バスケットボール、グラウンドソフトボール、フットソフトボール	中央講習会等派遣	審判員養成 資格取得等					リハール大会	本大会
	県内講習会							
調査・研究 先催大会 視察等	調査・研究							
<b>国民スポーツ大会 同一競技</b>	中央講習会等派遣・県内講習会	国民スポーツ大会の審判員養成により達成						
	調査・研究 先催大会 視察等	調査・研究						

審判員の養成は、全国障害者スポーツ大会の独自競技6種目（サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボッチャ、車椅子バスケットボール、グラウンドソフトボール、フットソフトボール）を中心に行うこととし、審判員の養成方法や年次計画の策定等は各競技運営主管団体と協議しながら進めていく。

## 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 情報支援ボランティア養成

第82回国民スポーツ大会および第27回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員、その他の関係者および一般観覧者（以下「参加者等」という。）に分かりやすい情報提供を行い、聴覚障がいのある参加者等への情報保障を図るため、次の方針により情報支援ボランティアの養成を行うものとする。

### 1 情報支援ボランティア養成について

- (1) 情報支援ボランティアの養成は、長野県準備（実行）委員会が会場地市町村、障がい者関係団体との協力を得ながら行う。
- (2) 情報支援ボランティアは、1人1業務を原則として、県民の障がいへの理解を深めるため、できる限り県内において養成することとし、配慮が必要な参加者等に適切な対応がとれるよう配置を行う。
- (3) 情報支援ボランティアの養成に当たっては、障がいのある人もない人も広く県民の積極的な参加と協力が得られるよう配慮する。

### 2 情報支援ボランティアの定義

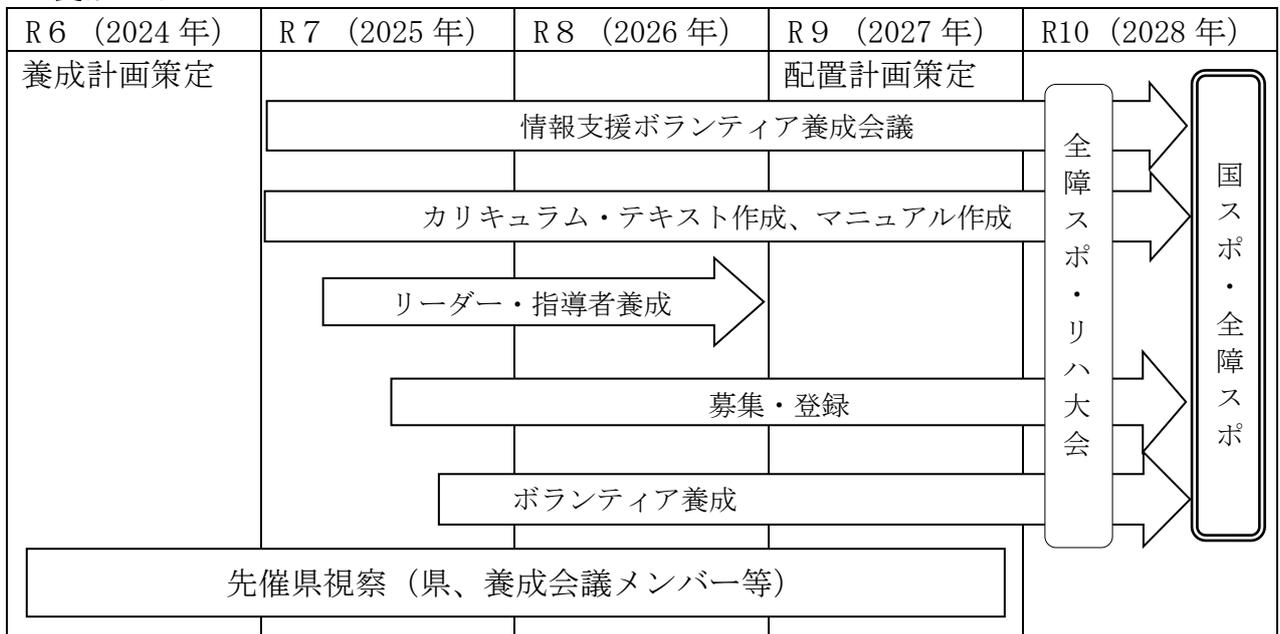
情報支援ボランティアは、以下の業務に従事するボランティアとする。

種別	業務内容
手話	手話による情報の提供およびコミュニケーション保障
要約筆記(手書き)	ノートテイクやホワイトボードを使用した情報の提供
要約筆記(PC)	パソコンに入力したデータ情報による情報の提供

### 3 養成人数

区分	手話	要約筆記(手書き)	要約筆記(PC)	合計
人数	400	150	50	600

### 4 養成スケジュール



公益財団法人日本パラスポーツ協会  
会長 森 和之 様

長野県知事 阿部 守一

## 第 27 回全国障害者スポーツ大会の会期について（協議）

第 27 回全国障害者スポーツ大会の開催準備につきましては、平素より格別の御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、第 27 回全国障害者スポーツ大会の会期について、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱の 6（3）の規定により、下記のとおり協議します。

### 記

#### 全障スポ会期案

第 1 案 令和 10 年（2028 年）10 月 21 日（土）から 10 月 23 日（月）まで

第 2 案 令和 10 年（2028 年）10 月 28 日（土）から 10 月 30 日（月）まで

※希望順位は第 1 案、第 2 案の順

#### （参考）

##### ・会期案の選定について

国スポ閉会后、会場転換など一定の準備期間を確保すること及び市町村、競技団体等の関係団体に対して実施した意見照会の結果も踏まえ、会期案を選定した。

#### ※国スポ会期

令和 10 年（2028 年）10 月 1 日（日）から 10 月 11 日（水）まで

長野県観光スポーツ部国スポ・全障スポ大会局総務企画課  
担 当 総務企画係 仙仁、溝口  
電 話 026-235-7442（直通）  
ファクシミリ 026-235-7451  
電子メール somu2028@pref.nagano.lg.jp



## 全国障害者スポーツ大会専門委員会 今後の審議予定事項

年 度	全体	役員編成・養成 について	会場施設 について	情報保障 について	選手団サポ ーターについて	リハーサル 大会について	その他
令和7年 (3年前)	全障スポ 専門委員会設置		バリアフリー調査 実施要項		選手団 サポーター養成 について		競技用具 整備要項
	開催決定						オープン競技実施 競技及び会場に ついて (以降随時審議)
	大会会期決定	競技役員等 編成要項	バリアフリー調査 報告	情報支援 ボランティア 募集要項		リハーサル大会 会期及び会場に ついて	
令和8年 (2年前)	競技別会期案			情報保障体制整 備基本方針	選手団サポ ーター養成状況 報告	リハーサル大会 実施要項	おもてなし広場 基本計画
令和9年 (1年前)		大会役員 編成基準				リハーサル大会 競技別実施要項	特別招待者 について
	本大会 実施要綱					リハーサル大会 荒天時対応要領	
	本大会 競技別実施要項	<b>第82回国民スポーツ大会(冬季大会)</b>					
令和10年 開催年	全障スポリハーサル大会						
						リハーサル大会 開催報告	
<b>第82回国民スポーツ大会(本大会)・第27回全国障害者スポーツ大会</b>							

※先催県を参考に作成しているため、今後変更となる可能性があります。

第 82 回国民スポーツ大会（本大会）正式競技及び特別競技  
第 27 回全国障害者スポーツ大会正式競技  
競技団体の代表者 様

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会  
長野県準備委員会事務局競技運営課長

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会  
競技役員等養成事業補助金交付要綱及び交付実施要領の改正について（通知）

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の本県開催にあたり、日頃から御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在令和 7 年度の競技役員等養成事業補助金申請を受け付けているところですが、競技役員等養成補助金交付要綱及び交付実施要領について一部改正を行います。

つきましては、下記のとおり交付要綱及び交付実施要領を送付いたします。

## 記

### 1 改正概要

- (1) 全障スポ独自の審判員資格が必要な競技について、資格取得、資格維持、資質向上を目的とした県内講習会の受講者旅費を補助金の対象とする。
- (2) 全障スポの正式競技全般について、競技役員等の全障スポ実施競技及び障がい特性の理解の深化のための県内講習会の受講者旅費を補助対象とする。

### 2 添付書類

- (1) 補助金交付要綱及び交付実施要領 改正概要
- (2) 補助金交付要綱
- (3) 補助金交付実施要領
- (4) 新旧対照表
- (5) 申請の手引き
- (6) R7. 6. 1 補助金交付要綱様式

### 3 施行日

令和 7 年 6 月 1 日（令和 7 年 4 月 1 日以降に実施する事業について適用）

（問合せ先）

担 当 国スポ・全障スポ大会局 競技運営課 福嶋 小林

電 話 026-235-7235

F A X 026-235-7499

メール [kyogiunei2028@pref.nagano.lg.jp](mailto:kyogiunei2028@pref.nagano.lg.jp)



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

第 27 回全国障害者スポーツ大会 実施競技の名称変更

第 27 回全国障害者スポーツ大会実施競技において競技団体の名称変更に伴い、競技名称の変更があったことから、以下のとおり報告する。

実 施 競 技 名 称	
変更前	変更後
グラウンドソフトボール	ブラインドベースボール

※ 令和 8 年（2026 年）の青森大会から変更



# 審議事項





## 第 27 回全国障害者スポーツ大会 会場地バリアフリー調査について（案）

### 1 目的

第 27 回全国障害者スポーツ大会に参加するすべての人が利用できるような会場づくりを行うため、関係団体とともに、競技会場のバリアフリーの状況等に係る現地調査を行い、課題把握や対応について検討を行う。（実施要領一部抜粋）

### 2 調査時期

令和 7 年 8 月～11 月 実施日は今後調整

### 3 調査参加者

障がい者福祉団体、競技運営主管団体、会場地市、県、その他事務局が必要と認める者

### 4 調査箇所

第 27 回全国障害者スポーツ大会 正式競技会場  
※現在改修中や今後改修予定の施設は除く。

### 5 主な調査内容

- (1) 段差解消のためのスロープ設置箇所
- (2) 案内看板や情報保障機器等の設置箇所
- (3) 車いす対応トイレ等の必要数や設置場所
- (4) 車いす使用者用席の必要数や設置場所
- (5) 車いす使用者用駐車場の有無
- (6) その他（手すりや椅子の設置、バスの駐車スペース及び乗降場所の確保等）

### 6 スケジュール

調査結果をもとに、会場整備設計等の参考とする。



## 第 27 回全国障害者スポーツ大会

### 競技会場バリアフリー調査実施要領（案）

#### 1 目的

「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づき、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指し、大会に参加するすべての人が安心して利用できるような会場づくりを行うため、関係団体とともに、競技会場のバリアフリーの状況等に係る現地調査を行い、課題把握や対応について検討を行う。

#### 2 調査の視点

##### (1) 安全性

障がいのある人や高齢者、子どもなど、すべての人に配慮した動線の設定や区分けを行い、安全な会場の整備に努める。

##### (2) 快適性

わかりやすい案内看板、ヒアリンググループ（※）等の情報伝達設備やスロープ、多目的トイレの設置など、すべての人が快適に過ごせる会場づくりに努める。

※ヒアリンググループ…場内アナウンスの音声等を補聴器に直接送り込むための機材。対応する補聴器が敷設されたループアンテナ（多芯ケーブル）から磁気を受信すると、音声信号に変換し、音声を聞くことができる。

##### (3) 簡素化・効率化

既存施設を最大限有効活用し、改善が必要な場合は仮設物で対応することを基本とし、国スポーツ等で使用した物品等を有効活用する等、簡素化・効率化に努める。

#### 3 主な調査内容

- (1) 段差解消のためのスロープ設置箇所（芝生・土部への養生等を含む）
- (2) 案内看板や情報保障機器等の設置箇所（案内表示方法を含む）
- (3) 車いす対応トイレ等の必要数や設置場所
- (4) 車いす使用者用席の必要数や設置場所
- (5) 車いす使用者用駐車場の有無
- (6) その他（手すりや椅子の設置、バスの駐車スペース及び乗降場所の確保等）

#### 4 調査参加団体

- (1) 障がい者関係団体
  - ・社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会
  - ・社会福祉法人長野県聴覚障害者協会
  - ・社会福祉法人長野県視覚障害者福祉協会
  - ・長野県手をつなぐ育成会
  - ・特定非営利活動法人長野県精神保健福祉会連合会
- (2) 競技運営主管団体
  - ・一般財団法人長野陸上競技協会
  - ・一般社団法人長野県水泳連盟
  - ・長野県アーチェリー協会
  - ・長野県卓球連盟
  - ・長野県障害者フライングディスク協会
  - ・長野県ボウリング連盟
  - ・長野県ボッチャ協会
  - ・一般社団法人長野県バスケットボール協会

- ・長野県ソフトボール協会
- ・一般財団法人長野県バレーボール協会
- ・一般社団法人長野県サッカー協会

(3) 会場地市

長野市、千曲市、大田市、安曇野市、松本市、佐久市、岡谷市、茅野市、伊那市

(4) その他、事務局が必要と認める者

## 5 調査施設

競技	会場地	会場	競技参加者（競技規則より）					
			身				知	精
			肢	視	聴	内		
開・閉会式 ※	松本市	松本平広域公園陸上競技場	○	○	○	○	○	○
陸上競技 ※		松本平広域公園陸上競技場	○	○	○	○	○	
バレーボール		エア・ウォーターアリーナ松本					○	
サッカー		サンプロアルウィン 長野県松本平広域公園芝生グラウンド* 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場 のいずれか					○	
水泳 ※	長野市	アクアウイング	○	○	○	○	○	
ボウリング		ヤングファラオ					○	
バスケットボール ※		長野運動公園総合運動場総合体育館 ホワイトリング					○	
車いすバスケットボール ※		南長野運動公園総合運動場体育館 のいずれか	○					
ソフトボール	伊那市	伊那ニッパツスタジアム					○	
ブラインドベースボール (グラウンドソフトボール)		伊那ニッパツ野球場 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 のいずれか		○				
フットソフトボール							○	
アーチェリー	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場	○		○	○		
卓球（STT含む）	岡谷市	スワンドーム	○	○	○		○	○
フライングディスク	茅野市	茅野市運動公園陸上競技場	○	○	○	○	○	
ボッチャ	千曲市	ことぶきアリーナ千曲	○					
バレーボール	安曇野市	A N Cアリーナ			○			
	大田市	大田市運動公園総合体育館						○

肢：肢体不自由、視：視覚障がい、聴：聴覚障がい、内：内部障がい、知：知的障がい 精：精神障がい

※印のついている競技については会場が建設・改修中または改修予定があるため令和7年8月～11月に行うバリアフリー調査の対象としない。

## 6 チェックリスト

調査に当たっては、別添チェックリストを使用する。

## 7 旅費

調査参加者には長野県準備委員会会則に基づき、調査実施会場までの旅費を支給する。

## 8 今後のスケジュール

令和7年(2025年)	令和8年(2026年)	令和9年(2027年)	令和10年(2028年)
開催3年前	開催2年前	開催1年前	開催年
会場地施設調査	会場仮施設基本設計	会場仮施設実施設計	仮設物の設置 リハーサル大会 リハーサル大会後調整 全障スポ大会 仮設物の撤去

# 【原案】会場地バリアフリー調査チェックリスト

参考

調査日 令和7年(2025)年 月 日 時 分～ 時 分

調査会場

調査者氏名 調査者氏名

場所		チェック欄		「気になる(不十分)」部分について
		気にならない (十分)	気になる (不十分)	
① 駐車場・屋外通路	車いす使用者用駐車場が設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	会場近くの位置に設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	車いす使用者用 車への乗降がしやすい広さがあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	車いす使用者用駐車場であることが分かりやすく表示されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	点字ブロックや音声装置等は安全に設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	通行の支障となる段差等の障害物はないか(排水溝の溝ぶたの状況含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	駐車場に至る経路について、移動しやすい経路となっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる(不十分)」部分について	
		気にならない (十分)	気になる (不十分)		
② 出入口付近	通行しやすい幅か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	開閉しやすい扉か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	通行の支障となる段差等の障害物はないか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	スロープ	通行しやすい幅か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		利用しやすい傾斜および長さか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
③ 会場内通路	移動に支障のない地面状況か(滑りにくさ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	通行の支障となる段差等の障害物はないか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	通行しやすい幅か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	車いすの転回スペースはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	点字ブロックや音声装置等は安全に設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目		チェック欄		「気になる(不十分)」部分について
			気にならない (十分)	気になる (不十分)	
④ トイレ	個数	トイレの数は十分か 【一般トイレ、多目的トイレ】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般 用 トイレ	洋式トイレ数は十分設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		和洋式の見やすい表示はあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		床置き式男性用小便器があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		洗面台は利用しやすいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	多 目 的 ト イ レ	出入りに支障のない扉・幅・広さか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		便座や手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		点字表示や音声誘導装置は設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		洗浄装置の操作は簡単なものか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		洗面台は利用しやすいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		オストメイト対応になっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		非常呼び出しボタンは使いやすい位置にあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		乳幼児を座らせることができる設備はあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		トイレは会場内の利用しやすい場所に設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		トイレの案内表示は見やすいか(大きさ・色・男女別表示など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる(不十分)」部分について	
		気にならない (十分)	気になる (不十分)		
⑤ 更衣室・シャワー室	十分な広さはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	ベンチや手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	ロッカーは使いやすいか(高さ・位置・点字表示等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	滑りにくい床面になっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	非常呼び出しボタンは使いやすい位置にあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	シャワー室内	十分な広さはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		シャワーチェアはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		滑りにくい床面になっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		シャワー等の設備は使いやすいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		非常呼び出しボタンは使いやすい位置にあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる(不十分)」部分について
		気にならない(十分)	気になる(不十分)	
⑥ 階段	手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	滑りにくい床面になっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	階段の踏面の色は明度差があり、わかりやすいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	点字ブロック等は安全に設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ エレベーター(ある場合)	基数 一般用【            】、貨物用【            】、その他昇降機【            】			
	支障のない出入り口の幅・エレベーター内の広さか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	現在位置を表示する装置が設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	点字表示や音声誘導装置は設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	安全に出入りできる配慮はされているか(鏡の設置等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	手すりは使いやすく設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	操作盤 車いす使用者等が利用しやすい位置にあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	操作ボタンに点字表示等はあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	乗降ロビーは十分な広さがあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる(不十分)」部分について	
		気にならない (十分)	気になる (不十分)		
⑧ 客席	観覧はしやすいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	滑りにくい床面になっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	転落防止柵等の安全策がとられているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	車いす観覧席	車いす観覧席が設置されているか、席数はどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		車いす観覧席の一席あたりの広さは十分か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		車いす利用者同伴者席はあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		サイトライン(可視線)は確保されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
会場出入り口から車いす観覧席までの経路はどうか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
⑨ その他	休憩用ベンチは設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	授乳場所は設置されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	自動販売機は障害のある人に配慮したものか(ボタン位置、点字等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	案内表示は障害のある人に配慮したものか(位置、わかりやすさ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	その他:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

## 会場地バリアフリー調査チェックリスト

先催県における主なバリアフリー対策等	仮設設置や配置が望ましい箇所
仮設スロープおよび地面養生	
案内看板等の設置	
運営ボランティア、手話・要約筆記ボランティアの配置	
選手用仮設トイレ(オストメイト対応多目的トイレ含む)	
観客用仮設トイレ(オストメイト対応多目的トイレ含む)	
補助犬待機所および補助犬用トイレ	
落ち着ける部屋・スペース(静養室、カームダウンスペース)	
選手団輸送用大型バスの駐車箇所および選手乗降所	
その他、特記事項等 (先催大会に参加経験がある方は、具体的にご意見をいただけると有り難いです。)	

第24回全国障害者スポーツ大会

(わた SHIGA 輝く障スポ)

競技会場バリアフリー調査

報告書

【第3版】 令和4年2月8日



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く  
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

## 長浜バイオ大学ドーム

～実施競技：フットベースボール（知）～

### 主な意見



#### ■駐車場・屋外通路

- ・大会時、車いす使用者用駐車場は看板等での明示をしてはどうか。
- ・駐車場から正面入口までの案内表示を設置してはどうか。
- ・正面入口前のスペースのタイルにひび割れや隆起が多数あり、（特に車いす使用者の）歩行の妨げになる。【写真①】
- ・JR 田村駅から最寄りの入口にあるスロープは、老朽化しており勾配も急であることから車いす使用者の利用は危険。50mほど進んだ入口の新しいスロープへ誘導してはどうか。【写真②】



写真①



写真②

#### ■出入口付近

- ・出入口付近に案内表示を設置してはどうか。

#### ■トイレ

- ・男子トイレ前にある点字ブロックが、女子トイレ前には無い。【写真③、④】
- ・男女、多目的トイレの別がわかりにくいいため、大きな表示や音声案内装置を設置してはどうか。【写真③、④】
- ・チャイルドホルダーが和式の個室（1か所）にしか無い。
- ・トイレ前にトイレの配置図を表示してはどうか。



写真③



写真④

#### ■更衣室・シャワー室

- ・シャワー室の段差が少し大きい。
- ・洗面所の足元に、滑り止めを設置してはどうか。

#### ■観客席

- ・車いす用観覧席について、転回スペースや付添人席のことを考えると少し手狭に感じる（2台が限界）。車いす観覧場所を増やしてはどうか。【写真⑤】
- ・車いす用観覧席の入口の幅が少し狭い。【写真⑥】



写真⑤

#### ■その他

- ・競技場からトイレや更衣室への案内表示を設置してはどうか。



写真⑥

## 高島市今津運動公園

～実施競技：ソフトボール（知）～

### 主な意見



#### ■駐車場・屋外通路

- ・球場横の駐車場から園路に入る箇所にくぼみがあるので、マット等を敷いてはどうか。
- ・車いす利用者の中には路面の凸凹による振動が気になる人がいるかもしれない。【写真①】
- ・照明が少ないので、仮設で増やしてはどうか。
- ・側溝のグレーチングが途中でなくなっているため、グレーチングを追加してはどうか。【写真②】



写真①



写真②

#### ■出入口付近

- ・第2グラウンドへのスロープは駐車場から近い位置に設置してはどうか。
- ・スロープに手すりがない。【写真③】
- ・園路から第1グラウンドに入る場所の側溝の蓋が経年劣化しているため、交換してはどうか。【写真④】



写真③

#### ■トイレ

- ・トイレの数が少ないため、仮設トイレを設置してはどうか。
- ・多目的トイレの照明をもう少し明るくしてはどうか。【写真⑤】
- ・第4グラウンド横駐車場の多目的トイレは、洗面台の位置等により車いす利用者が利用しにくいレイアウトになっている。【写真⑥】
- ・オストメイト対応トイレ（※1）がないため、仮設トイレを設置する場合は設置してはどうか。



写真④

#### ■その他

- ・広い会場なので、各所にわかりやすい案内表示を設置してはどうか。



写真⑤

※1

オストメイトとは、がんなどの病気や事故のために、排泄が難しくなり、人工的に腹部にストーマ（人工肛門、人工膀胱）を造設した人のこと。排泄を自分でコントロールすることが難しいため、ストーマ装具をつけている。

オストメイト対応トイレは、オストメイトの方が、装具や体を洗浄するための設備が整ったトイレのこと。



写真⑥

## 第 27 回全国障害者スポーツ大会

### 選手団サポートボランティア養成について（案）

第 27 回全国障害者スポーツ大会に参加する選手および役員（以下「選手等」という。）の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、次世代を担う若者が障がいへの理解を深め、大会終了後も地域で活躍するきっかけとなるよう、次の方針により選手団サポートボランティアの養成を行うものとする。

#### 1 選手団サポートボランティア養成について

- (1) 選手団サポートボランティアの養成は、長野県開催準備（実行）委員会が県内の大学、専修学校等の協力を得ながら行う。
- (2) 選手団サポートボランティアの養成に当たっては、障がいのある人に配慮した行動をとれるよう、障がいに係る知識の習得や障がい理解の促進に係る講習等を行う。
- (3) 選手団サポートボランティアの活動を通じて、若者が選手等との交流の中で経験や知識を得て、成長できるようにサポートする。

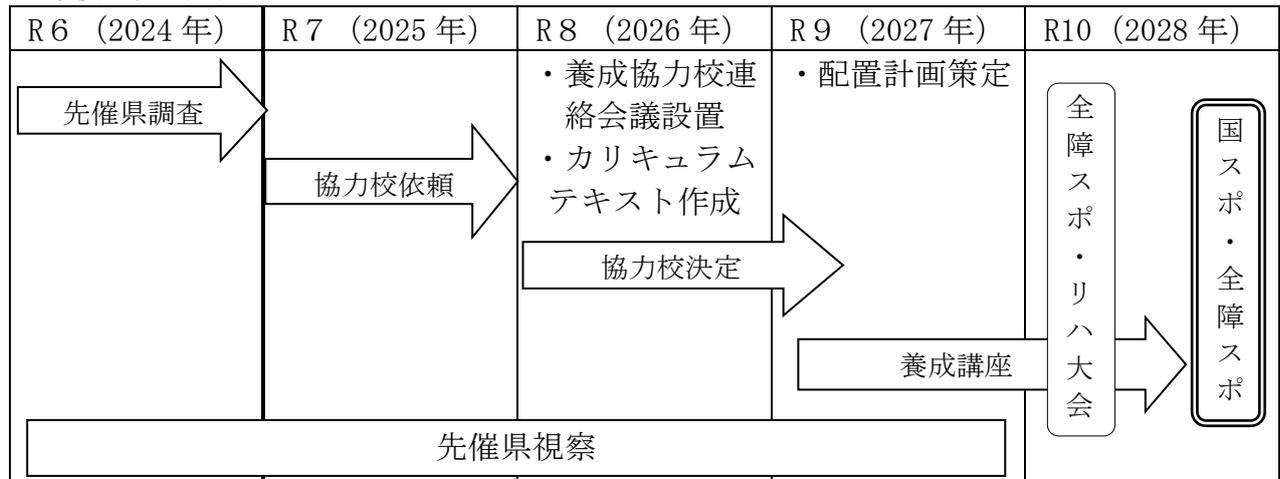
#### 2 選手団サポートボランティアの定義

選手団サポートボランティアは、選手等の介助・誘導等のサポートを行い、選手等との交流を深めるボランティアとする。

#### 3 養成人数

種別	業務内容	養成協力団体	人数
選手団サポート	選手団の介助・誘導・交流等、選手団と行動を共にする。	大学 専門学校等	約 800 名

#### 4 養成年次計画



## 選手団サポートボランティアとは

国スポ・全障スポ大会は多くのボランティアに支えられ、運営する。ボランティアには運営補助を行う**運営ボランティア**、聴覚障がいのある選手や来場者への情報支援を行う**情報支援ボランティア**、全障スポ大会に参加する選手団に帯同する**選手団サポートボランティア**に分類される。

### 1 選手団サポートボランティア活動内容

県職員の指示のもと、各選手団と行動をともにしながら、自主的に次の活動に取り組む。

- ▽ 選手の移動介助、荷物管理、弁当・毛布の配付等
- ▽ 選手の応援・交流、ふれあい広場への案内・誘導等

【駅でのお出迎いの様子】



【選手への移動介助の様子】



【試合中のサポートの様子】



【閉会式でのお見送りの様子】



### 2 SAGA2024 全障スポ大会での配置例

個人競技：選手4人につき1人配置（参加選手2,375人）

団体競技：1チームにつき2人配置（参加84チーム）

第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技用具整備要項（案）

1 趣旨

この要項は、第 27 回全国障害者スポーツ大会の競技運営に万全を期するとともに、障がい者スポーツの普及・振興に資することを目的とし、大会の開催に必要な競技用具の整備について必要な事項を定める。

2 競技用具の区分

(1) この要項でいう競技用具とは、次表のとおりとする。

区分		内容	例示
競技用	備品	競技を実施するために直接必要な備品 (施設及び施設に付帯するものは除く。)	サッカーゴール、STT 用卓球台等
	消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品	ボール、石灰、ラインテープ等
運営用	備品	競技を実施するために直接必要な備品以外の もので、競技運営に必要な備品 (施設及び施設に付帯するものは除く。)	机、テント、放送器具等
	消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品以外 のもので、競技運営に必要な消耗品	事務用品、清掃用具等

(2) この要項でいう備品とは、その性質または形状を変えることなく、比較的長期間にわたって使用に耐えうるもので、取得価格が 100,000 円以上の物品をいう。

(3) この要項でいう消耗品とは、備品以外のものをいう。

3 競技用具の整備

(1) 競技用具の整備に当たっては、第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会事務局（以下「事務局」という。）が、競技運営主管団体及び会場地市町と協議し、決定する。

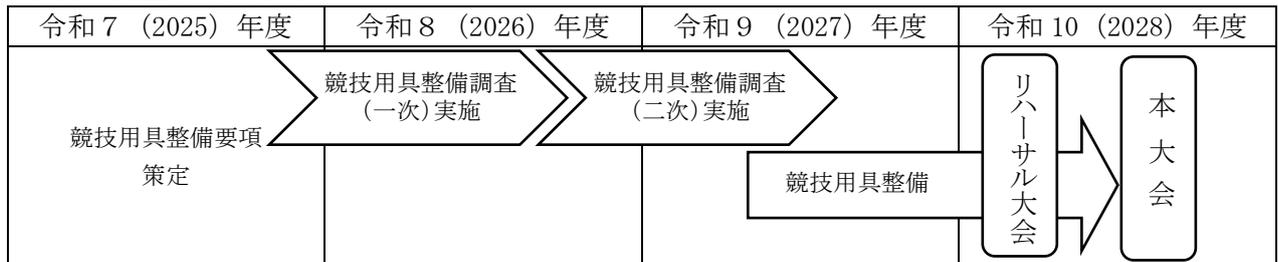
(2) 競技用具の整備に当たっては、次の順位により行うものとする。

- ア 県、会場地市、競技会場、競技運営主管団体等が現有する用具を使用する。
- イ 先催県から引き継いだ用具を使用する。
- ウ 第 82 回国民スポーツ大会で使用した用具を借用する。
- エ 県内施設、各種団体及び民間企業等から借用する。
- オ ア～エによっても不足するものは、事務局が購入する。

4 競技用具の転用及び処分

購入した競技用具の転用及び処分等については、大会終了後、事務局の責任において行う。

5 競技用具整備年次計画



6 その他

この要項に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

第 27 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技

実施競技及び会場地市町村 第 1 次選定 (案)

No.	競技	障がい種別	実施団体	会場地	開催予定施設
1	フロアバレーボール	身体 (視覚)	長野県フロアバレーボール協会	飯山市	飯山市勤労者体育館 飯山市立木島小学校体育館 飯山市立飯山小学校体育館
2	電動車椅子サッカー	身体	長野県電動車椅子サッカー協会	松本市	エア・ウォーターアリーナ松本 (松本市総合体育館)

## 第 27 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技 実施競技の概要

### 1 フロアバレーボール



※全国盲学校フロアバレーボール大会HPより引用

フロアバレーボールは全盲や弱視の視覚障害者と健常者が一緒にプレイできるように考案されている球技で6人制バレーボール競技規則を参考にしています。6人制バレーボールのコートと同じ規格で、ネットは床上に30cmの隙間ができるように張られています。チームは前衛3名、後衛3名の計6名で構成され、前衛選手はアイマスクもしくはアイシェードを着用し、ネット下をボールが通過するように打ち合います。(日本フロアバレーボール連盟HPを参考)

### 2 電動車椅子サッカー



※SAGA2024 全障スポ オープン競技より引用

電動車椅子サッカーは、電動車椅子の前にフットガードを取り付けて行うサッカーです。自立した歩行ができないなど比較的重度の障害を持った選手が多く、ジョイスティック型のコントローラーを手や顎などで操りプレーします。性別による区分はなく、男女混合のチームで行います。国際的な呼称は「Powerchair Football」となっており、スピードは時速10km以下と定められています。(日本電動車椅子サッカー協会HPから引用)